

「新潟市新規事業創出プロジェクト研究会」運営業務委託

にいがた2km

新規事業創出 プロジェクト

参加者
募集

にいがた2kmにおいて、エリア内の回遊性を向上させ、新潟市の魅力向上に繋がる新規事業を創出する。

2022年9月開講 募集要項



新潟市



学校法人 先端教育機構
事業構想大学院大学 事業構想研究所

にいがた2km 新規事業創出プロジェクト



持続可能な経営のためには、新規事業の創出やビジネスモデルの変革が不可欠となっています。気候変動やデジタル技術の革新など社会が大きく変容するなか、社会を見据え、多様化する顧客ニーズに合わせた新たな価値創造が求められます。

にいがた2km 新規事業創出プロジェクトでは、

- にいがた2kmエリア内の回遊性を向上させ、新潟市の魅力向上に繋がる自社の新規事業を構想します。
- 事業の根本からアイデアを発想し、理想となる事業構想を構築します。
- 最先端分野の有識者から得られる知見とともに社会変化を洞察し、デジタルを活用した新たな顧客価値を創造します。
- 異業種の企業やパートナーとの知の共有・探索や、コラボレーションによる事業創出活動を実現します。
- 7か月間（2022年9月～2023年3月）のプロジェクトを通じて気づける素養を磨き、価値創造を担う人材を育成します。
- 構想した新規事業については、新潟市のDXプラットフォームを通じて実装を目指します。

新潟市は、本州日本海側最大の「都市部」と多彩な水辺・里山といった自然豊かな「田園地域」が調和したまちです。現在、本市では約60年ぶりにリニューアルされる新潟駅や駅周辺整備事業が進んでおり、都心エリアで再開発の動きが出始めるなど、まちづくりの大きな転換期を迎えています。この機会を絶好のチャンスと捉え、都心エリアを「にいがた2km（ニキロ）」と名付け、新潟の活力を向上させるためのまちづくりを進めています。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の意識や行動、暮らし方が変わり、企業のビジネス環境も大きく変化しました。この目まぐるしく変化する時代を乗り越え、事業を持続的に発展させていくには、企業が従来型のビジネスモデルから脱却するDXの推進が欠かせないものと考えております。しかしながら、本市の多くの企業がまだDXに取り組めていないのが現状です。その多くは、「何から手をつけていいかわからない」という理由だと考えています。

そこで、本市では、昨年度から「新潟市DXプラットフォーム」を構築し、市内企業の付加価値や事業効率の向上を図り、企業や人、技術やデータなどをつなぐための支援を行っています。そして、今回、にいがた2kmエリア内における回遊性の向上やDXの推進を含む企業の新規事業創出をより一層加速させるため、「にいがた2km新規事業創出プロジェクト」を立ち上げることといたしました。

このエリアでの様々な活動を成長エンジンとして、本市の強みである「都市と田園の調和」を活かし、自然に包まれながらも利便性が高い「選ばれる都市 新潟市」の実現に向けて、皆様からの素晴らしいアイデアや意欲あるご応募をお待ちしております。



中原 八一 新潟市長

本プロジェクト発足の目的

新潟市では、市内企業の付加価値や事業効率の向上を図り、異分野・異業種間の企業や人、技術やデータなどをつなぐため「新潟市DXプラットフォーム」を構築し、そこから創出された様々なプロジェクトや各種実証事業等を支援してきました。本プロジェクトでは企業の従来型のビジネスモデルからの脱却やデジタル社会における新規事業開発を後押しするため、「にいがた2km（ニキロ）」における新規事業の創出を図り、エリア内での回遊性の向上、ひいては本市の魅力向上につなげます。

「にいがた2km（ニキロ）」とは



← にいがた2kmロゴマーク

「2」は、楽しくなるような躍動感を、
「K」は人を、
「m」は萬代橋を表現し、萬代橋を歩く人をイメージしている

新潟駅、万代、古町をつなぐ都心軸はほぼ2キロメートル。

市民の皆さまに新潟のまちづくりをもっと身近に感じていただき、ワクワク感や期待感につなげていきたいという想いから、この都心軸周辺エリアを「にいがた2km（ニキロ）」と名付けました。新潟の都心が大きく変わろうとしている今、にいがた2kmを成長エンジンとして、「次の世代も希望を持てる新潟」のバトンをつなぎ、皆さまとともに「好き」や「楽しい」を感じられるまちづくりに取り組んでいきます。



写真は新潟市ホームページより引用

にいがた2km 新規事業創出プロジェクトの概要と特徴

にいがた2km 新規事業創出プロジェクトの全体概要

新規事業の開発を行う7か月間の研究会

事業構想大学院の事業構想修士課程のカリキュラムのエッセンスを活かし、テーマに基づき、研究参加者の新たな事業構想と構想計画構築を行う7か月間のプロジェクトです。

1人の担当教授と10人の研究員

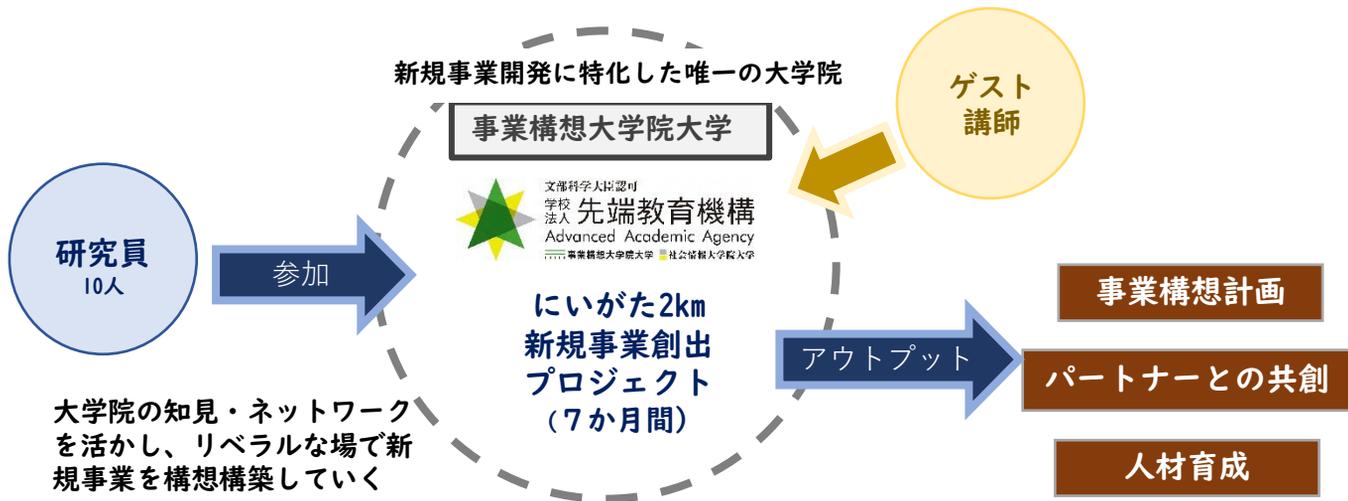
プロジェクトは、原則10人の研究員で構成されます。1人の担当教授が本研究期間を通してコーディネートとファシリテーションを行いながら、研究員の知見を高めながら推進していきます。

7か月間で20回開催

定例会では、7か月間で20回開催。多彩なゲスト講師を招き、研究員の視野を広め視点を磨きながら、研究員各自の新規事業創出を支援していきます。

「研究員」という資格を付与

プロジェクト参加者は、事業構想大学院大学附属の事業構想研究所 研究員の資格が付与され、大学院の知やネットワーク、施設を活用できます。研究員は非常勤（雇用関係なし）で、日常の仕事に就きながら、研究会に参加します。



本プロジェクトのカリキュラムとして、事業構想計画をアウトプットとした、発・着・想、構想案、シミュレーション、リサーチ、計画、投資側とのコミットメントなどをプロセスとして研究しながら、研究員（参画する企業）の計画する新規事業の実現性をともに画策していきます。研究員である皆様と、事業構想ノウハウを持った教授陣・研究の第一人者をゲスト講師として招聘し、三位一体となってプロジェクトを1年間執り行います。



にいがた2km 新規事業創出プロジェクトの概要と特徴

にいがた2km 新規事業創出プロジェクト 4つの特徴

1：イノベーションを体系化した唯一のプログラム

新規事業の開発を目的とした日本で唯一の大学、事業構想大学院大学の教授陣が、イノベーションに関する豊富な知識や方法を提供し、事業評価や計画を精緻に策定します。

2：経営資源を活かし、実践的な事業を構想

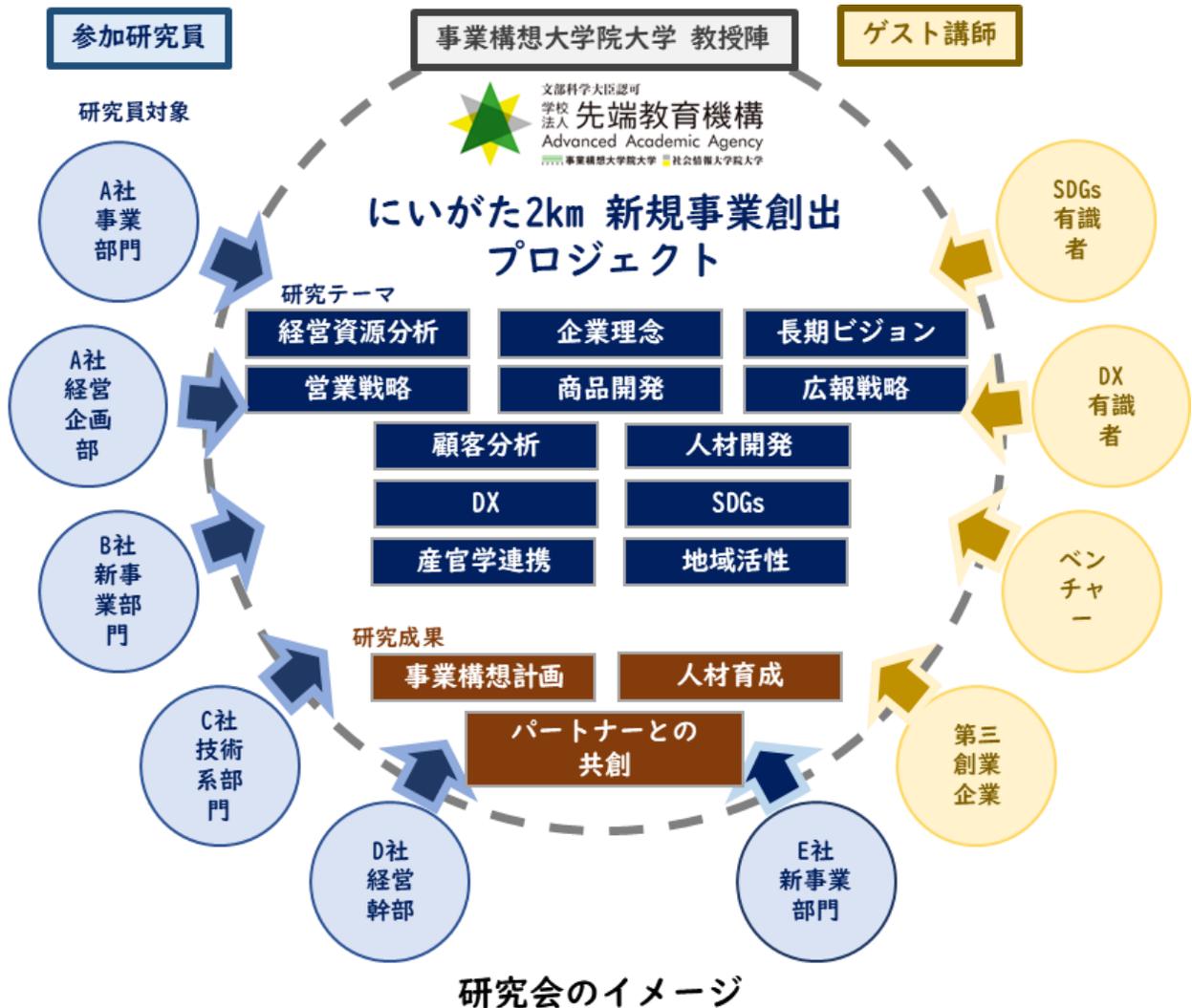
顧客開発など構想計画も、経営資源を活用した実現性が高く独自性の強いものを構築します。

3：最先端分野の有識者、第一人者とのネットワーク

本学がネットワークを有する、DXやSDGsなどの最先端分野における第一人者（官公庁・有識者・実践者・学者・起業家など）から、ゲスト講師を招聘し、イノベーション支援を行います。

4：異業種との共創

研究会は異業種の研究員で構成されます。自社の業界領域を超えた、新たな価値創造を加速します。



にいがた2km 新規事業創出プロジェクトの概要と特徴

最先端分野での幅広いネットワーク

事業構想大学院大学は出版部門を有しており、SDGsやDXなどの分野における最新事例・第一人者（官公庁・有識者・実践者）とのネットワークを構築しています。本プロジェクトにおいて、各分野の本質を理解しながら、新たな事業の開発につなげることを目指します。



プロジェクト研究員の特徴

1. 担当教員や本学教員への個別相談
2. 事業構想大学院大学主催「事業構想スピーチ」への参加（年間約40回以上開催）
3. 図書館、サロンの利用
4. 電子書籍、オンラインデータベースの利活用
5. アーカイブ視聴
6. メディア利活用
7. 名刺、研究員証貸与

※このほか、本学が主催するセミナー・フォーラム・企画展などのイベントに参加できます。

サポート体制

●多彩な人的ネットワークの構築支援

専門家や自治体、官僚などをゲスト講師としてプロジェクトに招聘し、イノベーションに必要なインプットを行います。また、年間約40回、事業構想大学院大学院生を対象に行っている、多様な分野のスペシャリストをお招きして実施する事業構想スピーチへもご招待いたします。

さらに、事業構想大学院大学の教授陣による個別フィードバックや、研究員同士が議論を重ねる中で、外部の専門的な視点を取り入れながら、各社/各自の事業構想計画をブラッシュアップすることができます。

●フィールド・リサーチができる「研究員」としての資格を付与

社会課題をイノベーションを通じて解決する「研究員」としての資格を付与します。社会的に中立な研究員という立場として、ヒアリングやフィールドリサーチを行い、ネットワークを構築することができます。

●メディア・プロモーション支援

優れた成果は月刊事業構想をはじめメディア掲載し、プロモーションを支援します。

最終的なアウトプット「事業構想計画書」

本学の「プロジェクト研究」や大学院カリキュラムを活かした構成で、定例研究会を中心に個別指導を受けながら、各研究員が自社の事業構想計画を策定します。

事業構想計画書作成

- 各研究員が、1点以上策定する。
- 「にいがた2kmエリア内の回遊性向上」というテーマを踏まえて、自社の事業構想計画書を作成する。
- 構想計画には下記の項目が入っていることを推奨する。

1. 基本構想

概要、社会的背景、自社の新たな知財、基本的な事業構造

2. プロダクト開発構想

コンセプト／市場性／価格戦略／製造・仕入れ構想／ブランド戦略／差異化／フィールドリサーチ（顧客インサイト分析）

3. 営業、販売構想計画

販売構想（チャンネル・販促）／普及・維持構想／フィールドリサーチ

4. 事業組織構想

組織・人事構想

5. 資金構想計画

概算資金計画

6. マーケティング・コミュニケーション戦略

プロモーション戦略／広告・広報戦略／コミュニケーション戦略

7. 想定される障害と対策

8. スケジュール

募集概要

プロジェクト期間

全20回、実施期間：2022年9月～2023年3月 各回半日程度（詳細は別ページ参照）

募集人数

10名

※募集人数を超えるお申込みがあった場合には、選考とさせていただきます。

※選考の結果は、参加可否問わず、8月19日（金）までにご連絡いたします。

※選考後の参加辞退はご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。

会場

新潟市内会場＋オンライン＋事業構想大学院大学 東京校

対象

- ・自社の経営資源を活用して、にいがた2kmエリア内の回遊性向上および新潟市の魅力向上に資する、新規事業の創出を目指す企業
- ・新分野展開や、新たな収益の仕組みづくりを検討している企業
- ※業種や企業規模は問いません。個人事業主も可能です。
- ※研究期間を通して7割以上の日程に出席できる方が参加可能です。
- ※参加確定企業には、DXプラットフォームへ入会いただきます。（詳細は別ページ参照）

研究員として参加いただく方のイメージ

- ・自社の経営資源を再定義し、デジタルを活用した新規事業を創出したい方
- ・今後、社内の中核となっていく幹部候補の方
- ・新潟市をよりよくしたいという熱い想いを持っている方 など

申し込み期限

締め切り：2022年8月3日（水） 申込書類必着

申し込み書類

申込書、個人調書

申し込み方法

申し込み書類一式を、以下担当宛に電子メールにて提出

【送付先】学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

「にいがた2km 新規事業創出プロジェクト」担当宛

メールアドレス：pjl@mpd.ac.jp

研究参加費

無料

主催

新潟市

運営

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 事業構想研究所

※「新潟市新規事業創出プロジェクト研究会運営業務委託」受託者



渡邊 信彦

(わたなべ のぶひこ)

事業構想大学院大学 教授
株式会社Psychic VR Lab取締役 COO

東証1部上場 大手SI企業にてネットバンキング、オンライントレーディングシステムの構築等、金融機関のデジタル戦略を多数担当。2006年、執行役員就任。経営企画室長を経て、11年、オープンイノベーション研究所を設立、所長就任。セカンドライフブームの仕掛け人としてメタバースのビジネス開発に関わる。その後起業、イグジットの後、株式会社Psychic VR Lab の設立に参加、取締役 COO 就任、現職。

Psychic VR Labでは、ライフスタイルに特化したXR (VR/AR/MR)制作ツールの提供及び配信プラットフォームSTYLY事業などを手掛ける他、国土交通省のスマートシティ実装ユースケース開発に参画、先端技術で街の成長と課題解決を目指す東京都「キングサーモンプロジェクト」に採択、渋谷区公認「バーチャル渋谷」配信プラットフォームにSTYLYが採用されるなど、多数の地方創生案件にも携わっている。

企業内の新規事業創出を支援する研究会の担当教員や、DXに関する講義など、多くの人材育成実績を持つ。

執筆記事

未知の繋がりから「飛躍」を生む 共創型オープンイノベーション (月刊事業構想2015年9月号)

VR本格普及はいつ? 「VR界のWordPress」が描く未来 (月刊事業構想2018年8月号)

新しい自己の表現にニーズ AR/VR時代の多様性を考える (月刊事業構想2021年7月号)

事業構想大の教授陣が語る これからの未来、事業構想の意義 (月刊事業構想2022年5月号) など

にいがた2km 新規事業創出プロジェクト カリキュラム

日程：2022年9月～2022年3月

講師：渡邊 信彦

会場：下記参照（新潟市内会場の詳細は、参加確定後にご案内いたします）

	日程	クール目標	テーマ	ゲスト（予定）	開催方法
1	9/2（金） 13:00～17:00	第1クール 事業構想 課題設定と アイデア開発	オリエンテーション ・ 事業構想概論		新潟市内会場に 集合
2	9/3（土） 9:00～13:00		SDG s 概論	東京都市大学 環境学部 教授 佐藤 真久氏	オンライン
3	9/9（金） 13:00～17:00		DXの現状を知る	九州大学 名誉教授 村上和彰氏	新潟市内会場に 集合
4	9/30（金） 13:00～17:00		社会構造の変化とWeb3 ～メタバースの活用構想ワーク～		オンライン
5	10/14（金） 13:00～17:00		クリエイティブ発想法①		オンライン
6	10/28（金） 13:00～17:00		クリエイティブ発想法②		新潟市内会場に 集合
7	10/29（土） 13:00～17:00		構想課題発表 チーム分け（2チーム） チーム別構想骨子ワーク		新潟市内会場に 集合
8	11/4（金） 13:00～17:00	第2クール 新事業 構想案策定 グループワー ク	サービスモデル設計・ ビジネスモデル設計		オンライン
9	11/18（金） 13:00～17:00		ビジネスモデルキャンバスと バリュープロポジション	事業構想研究所 教授 河村 昌美氏	オンライン
10	11/25（金） 13:00～17:00		マーケティング手法 （構想に必要なタスクと手法について）	ゲスト招聘	本学にて開催 （東京都内）
11	11/26日（土） 9:00～13:00		最新事例紹介 （構想案からの関連企業の紹介）	ゲスト招聘	本学にて開催 （東京都内）
12	12/9（金） 13:00～17:00	グループ構想発表会 個別課題の発表 （フィールドワーク案含む今後の計画発表）		新潟市内会場に 集合	
13	12/10（土） 9:00～13:00	第3クール ビジネスモデル 考察	構想骨子構築		新潟市内会場に 集合
14	12/23（金） 13:00～17:00		アカウンティング理論 （事業に必要な評価数値や管理数値）	公認会計士 植草 茂樹氏	オンライン
15	1/13（金） 13:00～17:00		プロモーション	ゲスト招聘	オンライン
16	1/27（金） 13:00～17:00		ビジネスモデル図作成ワーク		新潟市内会場に 集合
17	1/28（土） 9:00～13:00		フィールドワーク結果及び構想中間発表		新潟市内会場に 集合
18	2/10（金） 13:00～17:00	第4クール 新事業 構想案策定 個人ワーク	最新事例紹介（構想案からの関連企業の紹介）と 構想案のブラッシュアップ	ゲスト招聘	オンライン
19	2/24（金） 13:00～17:00		構想案のブラッシュアップ		オンライン
20	3/10（金） 13:00～17:00		最終発表会		新潟市内会場に 集合

※ 上記は予定であり、内容やスケジュールは変更になる場合があります。

※ 研究員の事業構想計画の内容や進捗によっても、担当教員等の判断により講義内容を変更する場合があります。

※ 上記日程に関わらず、担当教員による個別指導を受けることが可能です。

事業構想スピーチ（任意参加）

- 毎週、水曜日の19時から21時に2時間のスピーチを実施(年間約40回)
- 各界を代表するキーパーソンから、最先端ビジネスモデル・社会モデルを学び「発・着・想」を得て、事業構想構築に活かします。

革新経営者

創業経営者

新規事業責任者

ネットビジネス
リーダー

都市計画・建築家

最先端分野研究者

最先端企業経営者

地域活性 実践者

社会起業家

クリエイター

哲学者

ブランド
マネージャー

過去の登壇例



藤田 晋

サイバーエージェント
代表取締役社長



おち まさと

プロデューサー



増田 宗昭

カルチュア・コンビニエンス
・クラブ
代表取締役社長



角 和夫

阪急阪神ホールディングス
代表取締役会長



コシノ ジュンコ

ファッションデザイナー



笹本 裕

Twitter Japan
代表取締役



谷田 千里

タニタ
代表取締役社長



出雲 充

ユーグレナ
代表取締役社長



長谷部 健

渋谷区長



渡部 一文

アマゾンジャパン
バイスプレジデント

事業構想大学院大学事業構想研究所の研究員

下記の通り、事業構想大学院大学事業構想研究所のプロジェクト研究員の立場が付与されます。

◎研究員証



◎名刺



◎個別相談



◎事業構想スピーチ（年40回開催）



◎研究修了証



◎オンラインデータベース・アーカイブの活用



◎大学院環境（図書館・サロン）の活用



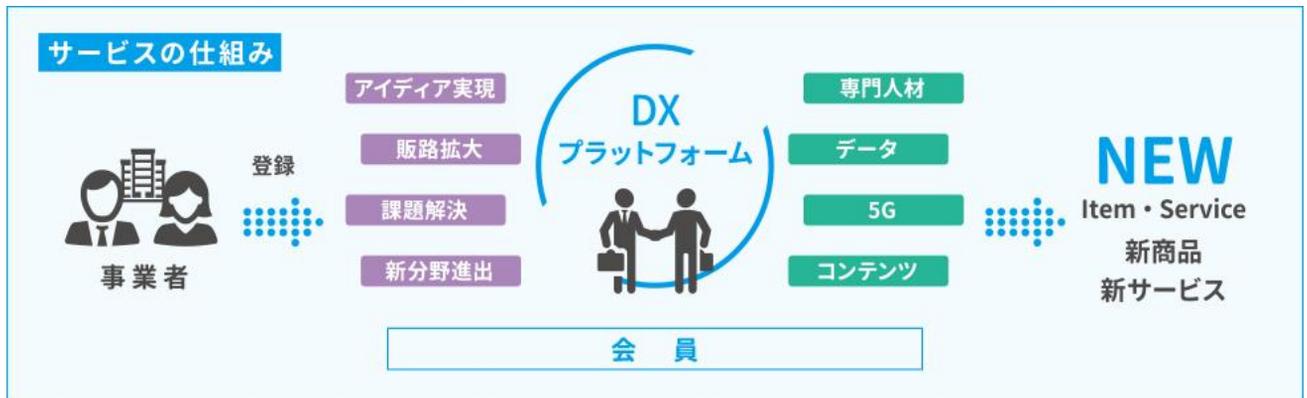
- 履歴書に研究員の経歴が記載可能。また、プロジェクト終了後には、研究報告書作成など規定要件を満たせば研究修了証を授与。
- 名刺、身分証の発行・貸与。
- 大学院主催年約40回の「事業構想スピーチ」への参加。
- 図書室やサロンなどの施設の活用。
- オンラインデータベースの利用。
- アーカイブ視聴。
- 希望により学会発表、メディア掲載申請が可能。
- 担当教授に随時相談可能

【ご参考】新潟市 DXプラットフォームのご紹介

新潟市では、多種多様な業種の事業者を会員として広く募集し、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を通じた新事業創出を後押しするDXプラットフォームをスタートさせました。

新型コロナウイルスの影響で、企業のビジネス環境は大きく変化しました。ウィズコロナ、ポストコロナにおいても事業を継続し、かつ、発展させていくためには、デジタル化の推進に留まらず、デジタル技術とビッグデータを駆使したビジネスの変革＝DXが求められています。また多くの企業がDXに十分に取り組めていないのが現状です。DXの必要性を正しく理解し、具体的なアクションを起こすためには、自社の課題を共有しその解決策を共に考える仲間、アイデアを形にするデジタル人材や企業など、共創するパートナーが欠かせません。

こうした課題認識のもと、多種多様な業界、業種の事業者が連携し、共にDXを推進することで、個社では取り組むことが難しい新製品や新サービスを創造するための仕組みとして本市がスタートさせたのが、DXプラットフォームです。



DXプラットフォーム 専用サイトより引用



DXプラットフォーム 専用サイトより引用

会員企業は、下記支援を受けることが可能です。

1. プロジェクトへの参加
2. 5Gビジネスラボ（産業振興センター）の活用
3. オン・オフラインのコミュニケーションサポート
4. 専門人材の活用
5. 概念実証（PtoC）

※会員は年間費用が掛かります。詳細は下記ページをご参照ください。

<https://www.niigata-dxplatform.jp/membership>

個人情報の取り扱いについて

本事業において、申込書類等を通じて取得する個人情報は、①研究員選考、②合格者発表、③参加手続き、④各種お知らせ、⑤これらに付随する業務を行う目的のみに、新潟市および運営事務局、担当教員が利用いたします。

【問い合わせ先】

申込やカリキュラムに関すること

学校法人先端教育機構

事業構想大学院大学 産官学共創部

〒107-8550 東京都港区南青山3-13-18

TEL : 03-6278-9031

電子メール : pjlab@mpd.ac.jp

DXプラットフォームに関すること

新潟市 経済部 成長産業・イノベーション推進課

〒951-8554 新潟市中央区古町通 7 番町 1010 番地

古町ルフル 5 階

TEL : 025 - 226 -1694

電子メール : growing@city.niigata.lg.jp



新潟市



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学 事業構想研究所